

詩や曲の背景を理解し、込められた思いをいかして歌おう 「花の街」

本題材で育成する資質・能力

主体性・課題解決力・ふりかえり力（メタ認知）

日時 平成30年11月28日（水） 6校時
場所 音楽室
学年・組 第3学年A・B組（男子16名、女11名、計27名）

1 題材観

本題材は、A表現（1）ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」を指導するものである。

思いや意図を表現するには、音楽を形づくっている要素である速さや強弱、旋律の抑揚が詩とどのように結びついているかを考え、曲にふさわしい表現の方法を見出して歌うことが大切である。

日本の歌曲は、日本語の語感を生かして作られており、日本語の美しさを実感することができる。

教材曲「花の街」は、昭和22年という終戦間もない時期に発表された曲である。1番、2番の歌詞は明るい、3番の歌詞には「泣いていたよ 街の角で」という部分があり、戦争によってさまざまな苦しみや悲しみを味わった人々の姿が表されている。荒廃した時代において、平和から生まれる美しい街を思い描く希望や祈りのこめられた作品である。詩と旋律の流れが一体となった美しさや、休符の効果的な使い方など、魅力的な要素が多く、歌詞に込められた思いを感じ取り、表現を工夫するのに適していると考えられる。

作詞者が詩に込めた思いを理解し、それらを生かして歌うことによって日本の歌の美しさに親しむとともに、どのようにその思いを表現していくか自ら考えて工夫することが大切である。

2 生徒観

本学級生徒は、意欲的に学習活動に取り組んでおり、歌唱表現活動にも積極的に取り組んでいる。これまで歌唱表現活動で、強弱記号の意味を確認し、どのように表現を工夫すればよいかを考える活動を数回行っている。「強い」「弱い」といった記号の意味は定着しているが、それがどのような雰囲気を出すためにつけられているのかを考えたり、歌詞と音楽の諸要素がどのようにかかわっているのかをとらえたりして、表現につなげるところまではできない生徒が多い。

このことから、曲想を味わい、自己のイメージをふくらませて表現を工夫しようとする力が十分でないことが考えられる。

3 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

（1）主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・強弱を意識せずに歌ったものを録音しておき、客観的に評価することで、表現を工夫することの大切さを実感させる。

- ・既習曲でどのように考えたかを復習し、教材曲と比べることで「なぜこのような記号がついているか」という疑問を持たせる。

（2）振り返り場面の指導の工夫

- ・音楽を形作っている諸要素をキーワードとして提示し、授業を振り返る視点を明確にする。
- ・授業で考えたこと、確認したことが、他の楽曲についても生かせることを示し、学習のつながりを意識させる。

(3) 生徒の実態に合わせた指導の工夫

- ・学習の流れを提示し、学習の見通しをもたせる。
- ・既習事項や音楽を形作っている諸要素を提示し、考えるうえでの参考にさせる。

4 題材の目標と評価規準

<題材の目標>

- ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌う。

【A 表現（1）ア】（共通事項 旋律，リズム，強弱）

<評価規準>

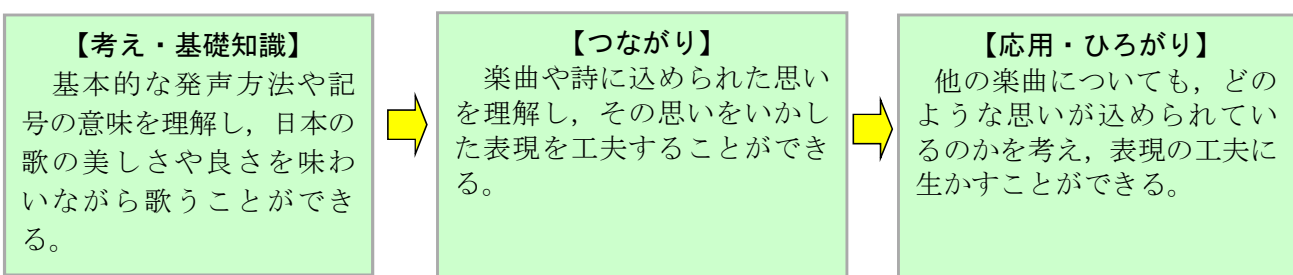
ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
①歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①旋律，リズム，強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身につけて歌っている。

5 指導と評価の計画

○本題材で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	評価規準		
	I（基礎知識）	C（つながり）	E（応用）
主体性	・基本的な発声にもとづいて歌唱表現にとりくんでいる。	・歌詞や資料から楽曲に込められた思いを考えようとしている。	・授業で考え、学んだことを他の楽曲でも生かし、自己の表現力を高めようとしている。
課題解決力 （探究力）	・課題について、自分の思いを持って話し合いに参加し表現しようとしている。	・どのように表現を工夫すればよいかについて、根拠にもとづいた自分の思いや意図をもち、それを表現しようとしている。	・他の楽曲についても、どのように表現を工夫すればよいかを考え、表現することができる。
ふりかえり力 （メタ認知力）	・音楽の用語記号についてどこまで理解できているかがわかっている。	・楽曲や詩に込められた思いと音楽の用語記号との関連について、どこまで理解できたかが分かっている。	・楽曲に込められた思いを考えることで、表現がどのように変わったかがわかっている。

【ICEモデル】



パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性，課題解決力（探究力），振り返り力（メタ認知力）
教科の評価規準	歌詞の内容や曲想を感じ取り，表現を工夫して歌う。

パフォーマンス課題のシナリオ

文化祭の全校合唱では，肯定的評価100%という目標を達成することができました。今度はさらに上のレベルとして，人を感動させる合唱を創りあげたいと考えています。そのためには，歌で思いを伝える表現力を高めていく必要があります。

一学期には「花」という曲で，作者が思いを伝えるためにどんな工夫をして曲をつくったのかを学習しました。では，「花の街」には，どんな思いが込められているのでしょうか。作者の思いが伝わるよう表現を工夫し，学習前とどのように自分たちの歌唱が変わったかを評価しましょう。

(全3時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	観点			評価 ◇評価規準 ★資質・能力(評価方法)
			関	創	技	
1	課題の設定 情報収集①	本時の目標：歌詞の内容をつかんで歌う。				
	○「花の街」の旋律をつかむ					
(単元を貫く課題) 曲の背景や歌詞の内容を理解し，こめられた思いが伝わるように表現を工夫しよう。						
	○「花」の歌詞にどのような思いこめられているか，どうしてこのような記号がつけられているかを確認する。 ○強弱記号とこめられた思いを意識して「花」を歌う。 ○「花の街」ではどう歌ったらいいかを考えながら歌う。	・桜がきれいな様子を歌にしている。 ・この歌で一番聞かせたいところは最後だ。 ・最後は盛り上げるためにfでしっかり歌おう。 ・「花の街」のfもしっかり声を出そう。	○			◇★基本的な発声を意識して歌っている。(行動観察) 【主体性】 ◇記号の意味や歌詞の内容を理解している(行動観察・発表) ◇今までの学習を振り返りながら主体的に取り組んでいる(行動観察)
2	情報収集②	本時の目標：旋律と歌詞の関わりを意識して歌う。				
	○フレーズの冒頭が八分休符で始まっていることに注目し，曲想やこめられた思いとのかかわりをつかむ。 ○フレーズごとのまとまりを意識しながら歌う。	・休符のところでしっかり息をそろえよう。 ・最後はやさしく息を吸うと感じがでるな。				○ ◇フレーズ前の休符を意識して歌っている。(行動観察) ◇★フレーズごとの歌い出しを工夫しようとしている。(行動観察，発表) 【主体性】

3	まとめ・創造・表現	本時の目標：強弱記号にこめられた意味を考え、表現にいかして歌う。				
本時	<p>○強弱記号にこめられた意味を考える。</p> <p>○考えたことを交流し、どのように表現を工夫していくかを話し合い、歌ってみる。</p> <p>○強弱とこめられた思いを意識して「花の街」を歌う。</p>	<p>・なんで最後は小さくして終るのだろう。</p> <p>・「泣いていた」という歌詞があるからかな。</p> <p>・戦後のまだ大変な時代に作られたことも関係しているのかも。</p> <p>・fのところは希望を表しているのでは。</p> <p>・最後は現実の悲しい気持ちを表現しよう。</p>	○	<p>◇★曲にこめられた思いと曲想のかかわりをとらえ、自分の考えを持っている（行動観察，ワークシート）【課題解決力】</p> <p>◇話し合いに参加し、自分なりに考えたことをグループの中で発表している（行動観察）</p>	○	<p>◇曲にふさわしい音楽表現に必要な技能を身につけ、歌唱表現することができている。（行動観察）</p>

予備的ルーブリック

尺度 (評点, レベル)	記述と表現
3 理想的	曲の背景と歌詞の内容が、強弱記号や曲想とどう関わっているかを理解し、1～3番をそれぞれどのように表現を工夫するか自分の考えを持って表現している。
2 合格	曲の背景と歌詞の内容を理解し、どのような気持ちをこめて強弱を工夫するか自分の考えを持って表現している。
1 乗り越えさせたい実態	曲の背景と歌詞の内容を理解している。

6 本時の学習

- (1) 本時の目標
強弱記号にこめられた思いを考え、その思いが伝わるように表現を工夫して歌う
- (2) 本時の評価規準
曲の歌詞及び背景と曲想との関わりを理解し、どのように表現するか自分なりの考えを持って表現している。
- (3) 準備物
拡大楽譜、ホワイトボード、ワークシート、資料プリント

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1 本時の課題を発見する。〔7分〕			
<p>1 既習曲を歌う。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>◇前時までの学習を振り返りながら、強弱記号を意識して歌わせる。</p> <p>◇「花の街」の自分たちの歌唱録音を聴き、課題意識を持たせる。</p>		
<p>◎ 強弱記号にこめられた思いが伝わるように、表現を工夫しよう</p>			
2 情報を収集し、整理する。〔5分〕			
<p>3 歌詞や作者の言葉から、曲の背景とこめられた思いを確認する。</p>	<p>・前時までの学習を振り返らせる。</p>		
3 新たな課題の解決に向けて議論する。〔28分〕			
<p>4 どのように表現を工夫すれば良いか考え、グループ内で交流する。</p> <p>5 交流した内容をふまえ、どのように表現を工夫するかを、歌唱で提案する。</p> <p>6 各グループの提案に対しての意見交流を行いよりよい表現の工夫を考える。</p> <p>7 考えた工夫を意識して「花の街」を歌唱し、録音する。</p>	<p>・どんな感じができるように歌えばよいか、①クレッシェンドして f ②m p の2カ所を中心に考え、話し合う。</p> <p>◇曲の背景とこめられた思いから考えさせる。</p> <p>◇根拠をあきらかにさせる。</p> <p>◆自分の考えが浮かばない場合は、仲間の意見に対してどう思うかを言わせる。</p> <p>◆「どんな感じ」があうか例を提示し選ばせる。</p> <p>・2グループごとに考えた内容を交流する。</p> <p>・自分たちで考えた工夫が伝わるように練習する。</p> <p>◇説明をくわえながら、実際に歌唱して提案させる。</p> <p>◇歌詞にこめられた思いが伝わるかどうかをポイントとして考える。</p> <p>・全体で確認し意識して歌唱する。</p>	<p>・曲にこめられた思いと曲想のかかわりをとらえ、どう表現を工夫するか自分の考えを持っている (行動観察, ワークシート)</p> <p>・話し合いに参加し、自分なりに考えたことをグループの中で発表している (行動観察)</p> <p>・曲にふさわしい音楽表現に必要な技能を身につけ、歌唱表現することができる。(行動観察)</p>	<p>・どのように表現を工夫すればよいかについて、根拠に基づいて他者に説明することができる。【課題解決力】 (ワークシート, 行動観察)</p>

4 学習のまとめをし、本時を振り返る。〔10分〕			
8	曲想がどのように変わったか意見交流する。	◇前時の録音と比べて聴き、良くなったところを発表させる。	
9	本時の振り返りと自己評価を書く。	◇今日の学習におけるキーワードをいれて振り返りを書かせる。	